



5月29日に理事会、6月16日に評議委員会を開催し、令和元年度事業報告・決算報告を承認していただきました。

令和元年度のトマトの利用状況は、長期・短期の施設入所者が延べ32,805人で、昨年と比較し505人減少しました。この減少の主な要因は年末からのインフルエンザの流行、その後引き続き新型コロナウイルスによる影響が大きく、短期入所も受け入れを中止してきました。収入面では、事業・事業外合わせて540,387千円となり、昨年度より4,292千円減収

になりました。支出は54,874千円で、昨年度より20,626千円増加しました。これにより、元年度は18,199千円の赤字となりました。

これは、入所の人員を確保できなかつたことと、修繕費の増加によるものです。

今後も、利用者や家族の満足度の向上を図るため、職員の資質向上と安全性・快適性の確保に努めて参ります。

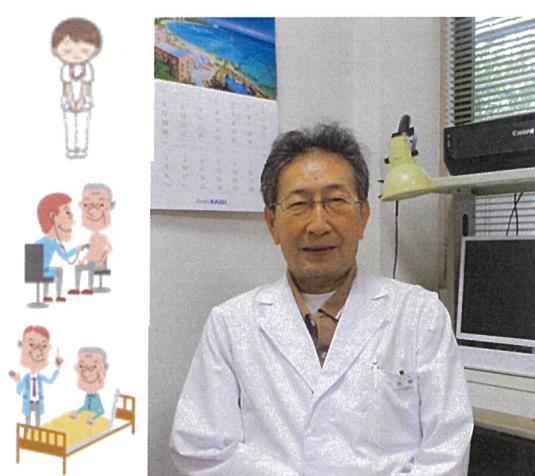
この度こしば福祉会の理事と施設長に就任いたしました。どうぞよろしくお願い致します。

介護老人保健施設トマトでは、出来るだけ利用者の意思を尊重し、生活機能の維持・向上を目指すとともに、家庭や地域の人・機関と協力しながら、安心して過ごせるよう、医師、看護、介護、理学療法士等の職員が協力して適切なサービスを提供する努力を重ねて参ります。

今後とも一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

「さくら」については、入居者様を安定して確保でき、収入は確保できましたが、支出については、職員の増員により人件費が増加しました。

今後さらにトマト等との連携を強め、一層利用者の確保に努めて参ります。

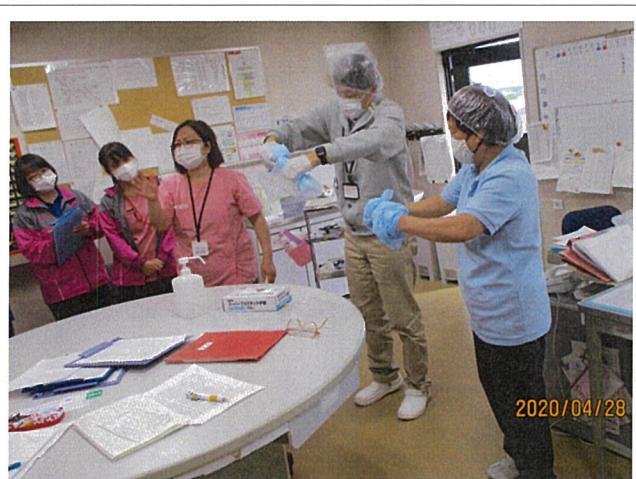


今年度より4,292千円減収

退室後にガウン、フェイスシールド、ヘアキャップ等を脱ぐ時に、細心の注意を払って、他に

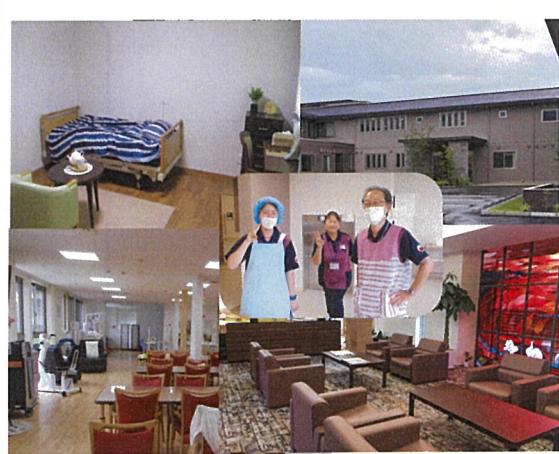
対応の一環として、入所者様に感染者が発生し、居室対応をすることになつた場合を想定して訓練を実施しました。防護服を着用しての対応となるため、その対応が安全・確実・スマートに行えるよう「ガウンテクニック」の訓練を、実際のガウン（レインコートで代用）、フェイスシールド、ヘアキャップ、プラスチック手袋、マスクを使用して、入所棟職員に対して毎日訓練を実施しました。

【ガウンテクニック訓練】



新型コロナウイルス 感染対策

菌が付かないように汚染部分を内に丸め込むようにすることが重要なのですが、悪戦苦闘しながら訓練に取り組みました。



3月に津市久居北町に（株）重電子計算センター（社長 小柴眞治）の「トマトハウス」がオープンしました。通所介護サービスや訪問介護サービスも提供しており、「トマト・さくら」とも連携してまいりますので、よろしくお願いします。

トマトハウス 紹介



通所リハビリより

【作品（5月～7月）】

5月はこいのぼりの貼り絵、6月は傘とてるてる坊主、7月は七夕の作品を作成しました。今後も季節に合わせた作品を作成していただきます。



【園芸（玉ねぎ）】
冬に植えた玉ねぎを収穫し、利用者様に自宅へ持ち帰つて頂きました。

【園芸（トマト）】
今年もトマトの苗を通所利用者様に植えていただきました。過去の経験を活かしながら、年々良いトマトが収穫でき、甘くて美味しいと利用者様に好評です。

【フラワーアレンジメント】

6月にフラワーアレンジメントを行いました。今回は暑さに負けず元気の出る向日葵を主として、薔薇やカーネーションを用いて色合いも明るく仕上がりました。

新鮮で美味しかったよと喜ばれていきました。

【園芸（トマト）】

今年もトマトの苗を通所利用者様に植えていただきました。



皆さん楽しみなイベント食



【リハビリ】
リハビリの一環としての編み物。指先が編み方を忘れていました。



【6月】 入所棟の皆さんのがんばりで、細かい作業も楽しみながら、手先の運動として取り組んでいたりています。

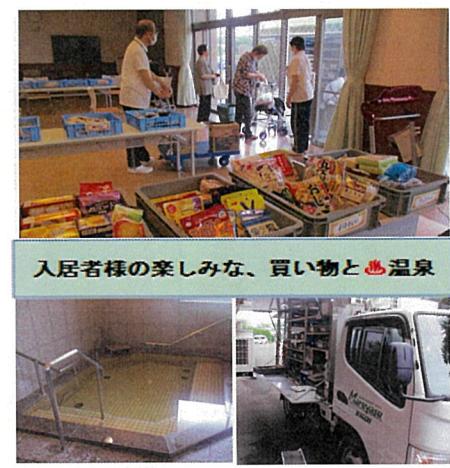
【作品】

「5月」兜の折り紙作り

「6月」紫陽花の貼り絵

【7月】

七夕の飾り付け



入居者様の楽しみな、買い物と温泉



【七夕】

入居者様お一人おひとりの願いを込めた短冊。

七夕の童謡で、「私が書いた五色の短冊をお星さまが空から見てる」という内容の歌詞がありますが、星にお祈りするなんぞ口マンティックですね。

【生け花の会】
季節の移り変わりに応じた花材。毎回、「今日はどんな花?」と、楽しみにされてます。回を重ねるごとに皆さん素敵な作品に仕上がり、部屋に飾っていただいています。



「備えあれば憂いなし」

編集員一同

妖怪アマビエ
疫病をおさめる

編集後記

私たちは長い歴史の中で、天災やペストなどの流行り病（はやりやまい＝感染症）に何度も苦しめられ、見えない敵と闘つきました。その名残が節分の豆まきや村の祭りなど、日本の文化に息づいています。感染症の恐ろしさを忘れ、新型コロナ感染拡大で緊急事態宣言が発令されるとは、予想できませんでした。

台風・大雨・大雪・地震・病など何も起こらなかつた年はありません。今後こうした感染症の流行をも、むしろ自然災害の一つとして覚悟し、それへの備えに努めるべきかも知れません。



施設敷地内の四季

「さくら」のイベント